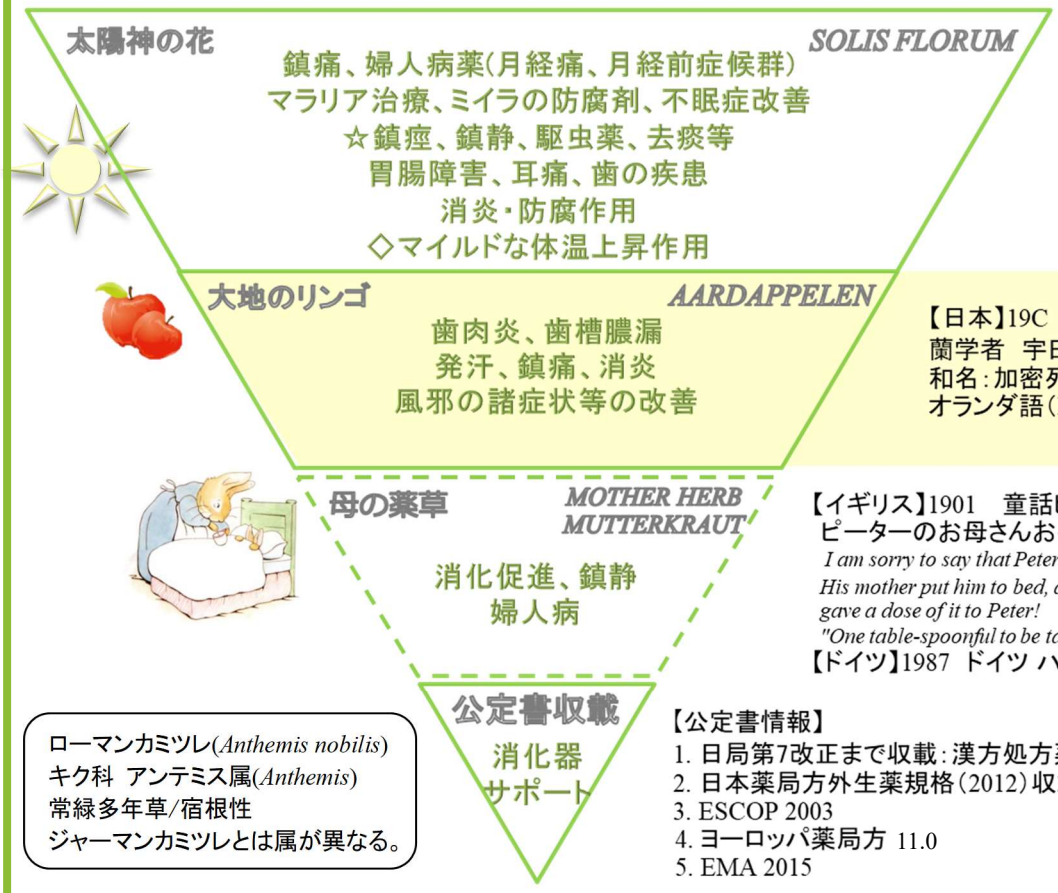
カミツレ乾燥エキス
Chamomillae flor extr.s.sicc.

Ⅰ.カミツレとは： 太陽神の花　大地のリンゴ　母の薬草（母性の健康）　消化器のハーブ（腸の健康）

Matricaria chamomilla：ジャーマンカミツレはキク科シカギク属（*Matricaria*）の 1 年草でヨーロッパ東部と南部および中東を原産とする。草丈約 15～60 cm、花は初夏から咲き始める。 ”Chamomile“の名は、ギリシャ語の「大地のリンゴ」に由来する。
属名の”*Matricaria*”は、「子宮」「母　生み出すもの」を意味し、婦人病の薬草としても知られる。



豊富な効能効果
【バビロニア】B.C.2000年頃　民間薬
【古代エジプト、古代ローマ時代】
ヒーリングパワーを持つ植物
クレオパトラの安眠薬
【古代ギリシャ】A.C.50
ディオスコリデス「Materia Medica」
【インド】アーユルヴェーダ☆
【イスラム】ユナニ医学◇

【日本】19C　オランダから伝来
蘭学者　宇田川玄真「遠西医方名物考」
和名：加密列　「カミツレ／カミルレ」
オランダ語（kamille：カミッレ）に由来

【イギリス】1901　童話ピーター・ラビット
ピーターのお母さんお手製のハーブティとして登場
I am sorry to say that Peter was not well during the evening.
His mother put him to bed, and made some camomile tea; and gave a dose of it to Peter!
"One table-spoonful to be taken at bed-time."
【ドイツ】1987　ドイツ ハーブオブザイヤー第1号

【公定書情報】
1. 日局第7改正まで収載：漢方処方薬【カミツレ浴湯：カミツレ花】
2. 日本薬局方外生薬規格（2012）収載
3. ESCOP 2003
4. ヨーロッパ薬局方 11.0
5. EMA 2015

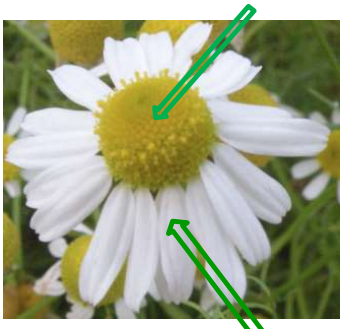
ローマンカミツレ(*Anthemis nobilis*)
キク科　アンテミス属(*Anthemis*)
常緑多年草/宿根性
ジャーマンカミツレとは属が異なる。

カミツレ乾燥エキス

☆ **原料：　キク科　(Asteraceae)　シカギク属　(*Matricaria*)**
カミツレ（*Chamomilla recutita* L.）の乾燥した花部

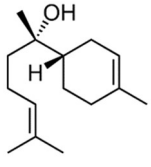
☆ **適応：　ESCOP 2003 より**
〈内服〉軽度痙攣、上腹部膨満、鼓腸およびげっぷなど消化器官における愁訴の対処療法
〈外用〉皮膚および粘膜の軽度炎症やかぶれ
口腔および歯肉：うがい薬　　気管：吸入　　肛門や陰部：入浴剤、軟膏

☆ **推奨量〈内服〉：　乾燥エキスとして　50～300 mg を 1 日 3 回　（ESCOP 2003）**

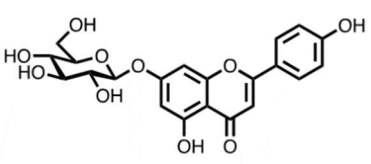


Ⅱ．カミツレと成分　(ESCOP 2003)

＊精油　(0.5～1.5%)　：
(-)-α-Bisabolol および Bisabolol oxide 類、Matricin、
Chamazulene（カモミールブルー：蒸留により Matricin から生成）など
＊フラボン誘導体　：Apigenin-7-Glucoside　など
＊その他：Coumarin 類、Phenolic acid 類、多糖類など



(-)-α–Bisabolol



Apigenin-7-Glucoside

Ⅲ. 有効性の検証① 薬理試験

① 抗炎症作用 (*in vivo*) *Planta Med.* **51**: 359 (1984).

☆カミツレ花 20 g を 42%エタノール水 100 ml で煎じて抽出した乾燥エキスを、2.5% Croton オイルで浮腫を誘発したマウスの耳に 0.75 mg 塗布したところ、カミツレ群はコントロールに比べて浮腫を 23.4%抑制した。 非ステロイド抗炎症薬(ベンジダミン)0.45 mg 塗布では抑制率 26.6%で、炎症抑制効果はカミツレ花 0.75 mg と同程度であることが確認された。

② 傷の治療効果 (*in vivo*) *Phytother. Res.* **23** (2): 274 (2009).

☆外傷性潰瘍を持つ 125 匹のラットを用いて、カミツレ軟膏剤とステロイド剤(トリシノロンクリームおよびクロベタゾールプロピオン酸軟膏)のコントロール対照比較試験を実施。カミツレ軟膏剤では、治療開始 5 日後に病巣部の完全な修復が観察され、他の試験群と比較して 9 日早い完治を示した。カミツレ軟膏剤は、ステロイド剤と比較して完治までの期間を有意に短縮し、傷の治癒促進作用がステロイド剤よりも優れていることが示唆された。

Ⅳ. 有効性の検証② ヒト臨床試験

①月経前症候群(PMS)の心身愁訴に対する効果 *Complement. Ther. Clin. Pract.* **20** (1): 81 (2014).

☆目的:カミツレカプセル剤とメフェナム酸(MS)錠の PMS に対する効果の確認 ☆対象:PMS と診断された 90 名の女性
☆方法:ランダム化二重盲検試験 カミツレ製剤 100 mg 又は MS 剤 250 mg 3 回/日 月経周期 2 サイクル
☆結果:カミツレ群は、MS 群と比較して精神的症状が有意に軽減(P<0.001)。身体的症状の改善については、群間差は認められなかった(P>0.05)。

②小児下痢に対する効果 *Arzneimittel-forschung.* **47** (11): 1247 (1997).

☆目的:カミツレ配合製剤(リンゴペクチン含有)の急性下痢に対する有効性の確認 ☆対象:6 ヶ月～5.5 歳の子供 79 名
☆方法:プラセボ対照ランダム化二重盲検並行群間比較多施設試験 (カミツレ群 39 名、プラセボ群 40 名)
☆結果:試験薬摂取 3 日後、カミツレ群は 39 名中 33 名で下痢が治まり、プラセボ群(40 名中 23 名)と比較して有意に改善(P<0.05)。また、下痢の継続時間が少なくとも 5.2 時間有意に短縮した。カミツレ群は、下痢の継続的な改善と被験者の「効果に対する満足感」が高かった(カミツレ群 82%、プラセボ群 60%)。

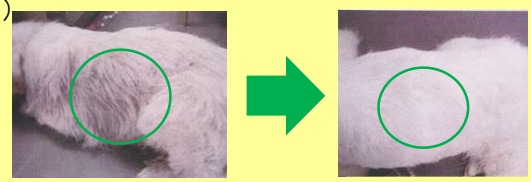
③精神状態の改善 1) *J. Clin. Psychopharmacol.* **29** (4): 378 (2009). 2) *Altern. Ther. Health Med.* **18** (5): 44 (2012).

☆目的:カミツレ抽出物の全般性不安障害(GAD)の諸症状に対する有効性の確認
☆対象:軽度～中等症の GAD 愁訴: 18 歳以上の男女 57 名
☆方法:ランダム化プラセボ対照二重盲検法 (カミツレ群 28 名 プラセボ群 29 名)
カミツレ抽出物 220～1100 mg/日(症状に応じて徐々に増量)又はプラセボを経口摂取 8 週間
☆結果:カミツレ群は、ハミルトン不安評価尺度(P=0.047)[1] およびハミルトンうつ病評価尺度(P<0.05)[2] のスコアが、プラセボ群と比較して有意に低下。

Ⅴ. 有効性の検証③ 国内イヌ臨床試験 :アトピー、脂漏性などの皮膚疾患 小動物臨床 Vol.23 No.6 (2004.11).

☆対象:アトピー性、脂漏性など皮膚疾患と診断されたイヌ 51 頭
☆方法:カミツレ抽出物(カモミン® カミツレ 500 mg/包)4 週間後に評価
内服(500 mg/10 kg/日)、外用(シャンプー剤に混入 250～500 mg/10 kg/回)
併用群 36 症例、内服群 11 症例、外用群 4 症例
☆観察項目:掻痒、発赤、油性脂漏、脱毛、色素沈着、皮膚肥厚など
☆結果:試験前後の変化
併用群:全ての観察項目において有意に改善 (P<0.01)
内服群:全ての観察項目で改善。掻痒、発赤では有意に改善 (P<0.05)
外用群:全ての観察項目で改善したが、有意差は認められなかった。
☆副作用:下痢、発赤、掻痒の悪化(5 例) カモミン® との関連性不明。

症例) ピレネー犬 9 歳: アレルギー性皮膚炎
内服のみ



使用前 使用後

全身の掻痒、発赤、色素沈着等に顕著な改善

Ⅵ. カミツレと安全性

☆急性毒性: LD_{50} ＞ 2,000 mg (ラット 経口投与)
☆禁忌 (ESCOP 2003): シカギク属(Matricaria)およびその他キク科の植物に対して過敏症の方

● お問合せ先:

● 総発売元:
アスク薬品株式会社
〒272-0138 千葉県市川市南行徳 3-15-6
TEL : 047-399-7598 FAX : 047-395-1831
URL: https://www.askic.co.jp E-mail : info@askic.co.jp

ISO 9001 2004 年 4 月 6 日取得

©2022 アスク薬品株式会社 0H2211(W)22(第 2 版)